

目 次

I.	総会	
	1) 2021年度定時総会	2
	2) 2021年度事業計画	2
II.	理事会、会員定例会、部会、事務局	
	1) 理事会審議議題	6
	2) 会員定例会審議議題	9
	3) 各部会の開催	11
	4) 外国映画通関連絡協議会の開催	12
	5) 外画宣伝部長会の開催	12
III.	主な事業活動の報告	
	1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びに その公表等の広報活動に関する事業	13
	2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に 寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業	13
	3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、 普及促進、保存及び特殊上映に関する事	15
	4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び 最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の 開催に関する事業	16
	5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び 開催に関する事業	17
	6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護 に関する事業	18
	7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために 必要な事業	19
IV.	新型コロナウイルス感染症対策による業界全体の行動	19

一般社団法人外国映画輸入配給協会事業報告

I. 総会

1) 2021年度定時総会

2021年度定時総会が以下の通り行われた。

開催日時 : 2021年6月8日 WEB会議システムによる決議

- ・2020年度事業を報告した。
- ・2020年度計算書類ならびに2021年度事業計画、収支予算が承認可決された。
- ・理事の寺島ヨシキ氏の辞任が承認可決された。
- ・理事の大角正氏、大林克己氏、佐野真之氏、吉原豊氏、升本喜郎氏の任期満了による退任が承認可決された。
- ・大角正氏、佐野真之氏、吉原豊氏、升本喜郎氏の理事再任および中村昌志氏、勝股英夫氏の理事新任が承認された。
- ・監事の柳澤義一氏、野久尾悟氏の任期満了による退任が承認可決された。
- ・柳澤義一氏、野久尾悟氏の監事再任が承認された。

2) 2021年度事業計画

一般社団法人外国映画輸入配給協会が2021年4月1日より2022年3月31日迄の間に行う予定の主要事業は下記の通りである。

当協会は、一般社団法人映画産業団体連合会傘下であり、おもに邦人の外国映画輸入配給業者を会員に持つ国内唯一の公的機関として、外国映画の普及、発展に寄与すべく事業活動を行うとともに、コロナ禍で被ったダメージからのさらなる再生・飛躍に向けて、映画産業全体(製作、配給、興行)で行う取り組みに協力する。

また、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、モーション・ピクチャー・アソシエーション、一般社団法人日本映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会等の映画関連諸団体と密接な連携を図り、映画産業全体の発展に寄与していく。

1. 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

各年に配給公開された輸入外国映画の統計一覧を作成、公表し、輸入配給業の発展に寄与する。

① 年間外国映画統計資料

2021年に配給公開された輸入外国映画の統計「外面概況」(国別・会社別)を作成する。国内の輸入映画産業における基礎的な統計データを調査・集計し、当協会の公式ホームページ並びに各メディアを通じて公表する。

② 年間外国映画実勢調査

2021年に配給公開された輸入外国映画の実勢を調査する。外国映画統計レポートとして国内の輸入映画を調査・集計し、外国映画産業の発展に寄与する。

2. 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

年間を通じて輸入外国映画の振興及び発展に貢献したと厳格な審査により認められた団体、法人に対して各賞を授与し、公表する。

① 優秀外国映画輸入配給賞

年間を通じて優れた作品でなおかつ新分野を開拓し、わが国の映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を輸入、公開した配給会社を表彰する。

3. 輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

輸入外国映画の持つ文化的・芸術的価値及び社会的価値について国内に広く周知広報活動を行う。

① トーキョーシネマショー

当協会、モーショントピクチャー・アソシエーション、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会と共に、外国映画振興のためのイベントを東京および大阪にて実施する。シンポジウム、トークショー、予告編上映イベント等を通じて、映画観客数の増加と日本の映画産業の発展に貢献することを目的とする。

② 「映画館に行こう！」実行委員会活動

映画人口2億人を目指し、当協会、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーショントピクチャー・アソシエーションの映画関係4団体協力のもと、「映画館に行こう！キャンペーン」、「映画盗撮防止キャンペーン」「映画館における新型コロナウイルス感染症拡対策の普及」等の活動を通じて、各施策を推進する。

③ 優秀外国映画の保存

わが国唯一の映画を専門とする国立機関として設立された独立行政法人国立美術館「国立映画アーカイブ」と連携し、映画の保存・研究・公開を通して行う映画の文化振興活動に対し、会員各社が協力することを奨励していく。

④ 副音声付等特殊上映

障害者差別解消法のもと、外国映画の配給会社としてどのように実現していくべきか関係団体と協議を継続する。映画のバリアフリー対応を実現し、社会的障壁を除去するための合理的配慮をしつつ、さまざまな人に外国映画を届ける環境づくりを、関係団体とともに追求する。

⑤ 協会発足60周年記念事業

協会発足60周年事業として、戦後の外国映画配給会社全作品リストや年史をデー

データベース化し公表する等、会員および関係団体に向けて60年の外国映画普及の歴史を振り返るとともに未来を共有する機会を創出する。

4. 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

① 映画産業交流会

モーション・ピクチャー・アソシエーションの協力を得て、日本の映画産業を支える配給・興行・製作・マスコミ関係者及び関係団体等の参加により、日本映画産業と海外の映画産業の交流を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として「年頭名刺交換会」を東京および大阪にて開催する。

② 外配協セミナー

外国映画文化の振興および輸入配給業の発展に寄与するためになるセミナーおよびシンポジウムを開催する。ハリウッド最新情報、海外映画祭レポート等、会員の関心のあるテーマを設定し定期開催する。

③ 外国映画通関連絡協議会研修会

本会は当協会に事務局を置き、外国で作られた映像素材の輸入、制作、配給、販売等、映像関連の事業に携わる会社が輸入通関業務の簡素化、合理化、円滑化を図る事を目的に事業を行う。デジタル化の影響で通関実績が激減するなか東京税関との繋がりを継続しつつ、主に映画技術の研究のための研修会等を定期開催する。特に最新の映像・音響機材についての研究や、新しい上映システムの実地研修等を実施し配給業務発展のため推進する。

④ 外画宣伝部長会

本会は当協会に事務局を置き、当協会会員、一般社団法人日本映画製作者連盟加盟社およびモーション・ピクチャー・アソシエーション加盟の各社宣伝部長が、映画宣伝について直面する諸問題、緊急課題の検討、連絡、情報交換を通じて各社の宣伝業務が円滑に行われるよう会議を開催する。「YAHOO! 予告編サイト」、各社イベントスケジュールの調整を目的とした「EVENT MASTER」システムの運営に加え、「トーキョーシネマショー」、「優秀外国映画輸入配給賞」「映画館に行こう！キャンペーン」等のイベントを共同で行う。

5. 映画の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への後援、開催に協力する。

① 各種映画祭

東京国際映画祭をはじめ、大阪アジア映画祭、沖縄国際映画祭、京都ヒストリカ国際映画祭、SKIP シティ国際 D シネマ映画祭、山形国際ドキュメンタリー映画祭、山形国際ムービーフェスティバル、あいち国際女性映画祭等、各種映画祭等に対する後援及び実施に協力する。また、「映画の日」、日本アカデミー賞、毎日映画コンクール、ブルーリボン賞等各団体が実施する催事に協力する。

6. 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業
映画界のデジタル化に伴う様々な問題と劇場用長編外国映画の著作権侵害に対する諸対策を講じる。
 - ① 映画盗撮防止対策
映画館での映画盗撮による著作権侵害が映画文化、芸術に対し被害を及ぼしていることに鑑み、「映画盗撮防止に対する法律」に規定されている映画産業関係事業者による映画盗撮防止措置について関係各団体と協議していく。また、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に行っている「NO MORE 映画泥棒」キャンペーンと連携を取り映画盗撮防止対策を拡充推進していく。
 - ② 会員各社並びに非会員輸入配給業者からの国際取引、著作権問題に関する諸問題の相談、聞き取りや会員各社からの問題提議に対して、当協会は顧問弁護士、顧問会計事務所等との相談を通じ、外国映画関係法規及び国内著作権法等の検討を行い、問題解決に努める。
 - ③ 映画館における外国映画音楽の上映利用について、2011年より一般社団法人日本音楽著作権協会と全国興行生活衛生同業組合連合会との間で行われている外国映画における音楽著作権上映使用料の改定交渉（通称JASRAC協議）についても、当協会は従来通りその使用料の代行払いを担っている立場から、全国興行生活衛生同業組合連合会と共に積極的に交渉に参画する。
7. コロナ禍で被ったダメージからのさらなる再生・飛躍に向けて必要な事業
関係省庁および関係団体との連携を強め映画産業全体で行う取り組みに協力する。
8. 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

II. 理事会、会員定例会、部会、事業

1) 理事会

○第94回理事会（4月20日開催）WEB会議

<審議・承認事項>

2020年度計算書類及び事業報告並びにこれらの附属明細書承認の件

2021年度収支予算承認の件

理事の辞任及び任期満了に伴う候補者選任の件

監事の任期満了に伴う候補者選任の件

会員新規入会の件

後援名義申請の件

・映画感想文コンクール 2021（キネマ旬報社）

定時社員総会招集の件

<報告事項>

3月活動報告及び業務執行理事の職務執行報告の件

3月月次収支報告の件

会員退会の件

JASRAC 映画上映使用料規定の契約期間及び協議期間について

○第95回理事会（6月8日開催）WEB会議

<審議・承認事項>

副会長（業務執行理事）選定の件

第59回優秀外国映画輸入配給賞の件

後援名義申請の件

・あいち国際女性映画祭 2021（実行委員会）

・山形国際ドキュメンタリー映画祭 2021（実行委員会）

・MPTE AWARD 2021 第74回表彰式（日本映画テレビ技術協会）

・第34回東京国際映画祭（ユニジャパン）

<報告事項>

4月活動報告及び業務執行理事の職務執行状況報告の件

4月月次収支の件

JASRAC 協議進捗報告の件

休業要請における協力金の件

○第96回理事会（7月20日開催）WEB会議

<審議・承認事項>

第59回優秀外国映画輸入配給賞の件

トーキョーシネマショー2021の件

関西シネマショーケース2021の件

後援名義申請の件

- ・SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2021（実行委員会）

<報告事項>

6月活動報告及び業務執行理事の職務執行報告の件

5月・6月月次収支報告の件

年間スケジュールの件

「映画の日」永年勤続功労章の件

休業要請における協力金の件

JASRAC協議進捗報告の件

2021年上半期映画概況の件

○第97回理事会（9月21日開催）WEB会議

<審議・承認事項>

2022年（令和4年）年頭名刺交換会の件

第66回「映画の日」特別功労章推薦の件

後援名義申請の件

- ・TIFFCOM2021（ユニジャパン）

- ・第17回山形国際ムービーフェスティバル2021（運営委員会）

賛助会員新規入会の件

<報告事項>

7月・8月活動報告及び業務執行理事の職務執行報告の件

7月・8月月次収支報告の件

映団連事務局長会議報告

- ・文化庁DX時代に対応した著作権制度・政策の在り方について

- ・MPTE AWARDS 2021について

- ・SARTRAS 補償金分配について

- ・第34回東京国際映画祭／TIFFCOM2021について

- ・永年勤続功労章受章者決定について

- ・第66回「映画の日」中央式典に関するお知らせ

JASRAC 連絡について

時短要請に伴う配給会社への協力金（時短）進捗報告

○第98回理事会（10月19日開催）

<審議承認事項>

第59回優秀外国映画輸入配給賞の件

後援名義申請の件

- ・第13回京都ヒストリカ国際映画祭（実行委員会）

<報告事項>

理事逝去の件

9月活動報告及び業務執行理事の職務執行報告の件

9月月次収支報告の件

トーキョーシネマショー2021終了報告の件

関西シネマショーケース2021終了報告の件

第66回「映画の日」特別功労賞の件

SARTRASの件

障害を理由とする差別解消の推進に関する法律の一部改正の件

○第99回理事会（11月16日開催）WEB会議

<審議承認事項>

一時金支給による補正支出の件

2022年理事会等開催日程の件

後援名義申請の件

・第17回大阪アジア映画祭（実行委員会）

・午前十時の映画祭12（映画演劇文化協会）

・COME BACK映画祭～コロナ禍で影響を受けた映画たち～（実行委員会）

<報告事項>

10月活動報告及び業務執行理事の職務執行報告の件

10月月次収支報告の件

トーキョーシネマショー2021事業仮決算報告の件

関西シネマショーケース2021事業仮決算報告の件

Go To新制度ヒアリングの件

時短要請に伴う配給会社協力金進捗の件

○第100回理事会（2月15日開催）WEB会議

<審議承認事項>

2022年度事業スケジュールの件

<報告事項>

11月・12月・1月活動報告及び業務執行理事の職務執行報告の件

11月・12月・1月月次収支報告の件

時短要請に伴う配給会社協力金進捗に関する報告

映連全国映画概況の報告

映倫審査本数比較の報告

映画翻訳家協会会員名簿の報告

○第101回理事会（3月15日開催）WEB会議

<審議・承認事項>

- 2021年度仮決算の件
- 2022年度事業計画(案)の件
- 賛助会員会費変更の件
- 外国映画通関連絡協議会・外画宣伝部長会の件
- 後援名義申請の承認
 - ・第14回沖縄国際映画祭(実行委員会)
 - ・SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2022(実行委員会)

<報告事項>

- 2月活動報告及び業務執行理事の職務執行報告の件
- 2月月次収支報告の件
- 時短協力金に関する進捗報告の件
- JASRAC 交渉進捗報告の件
- 5月臨時理事会開催の件
- 「盗撮防止キャンペーン映像」期間限定バージョンの送付について

2) 会員定例会

- 4月会員定例会 (4月20日開催) WEB 会議
 - 2020年度計算書類及び事業報告に関する報告
 - 2021年度事業計画の報告
 - 2021年度収支予算の報告
 - 1月・2月・3月活動報告
 - JASRAC 映画上映使用料規定の契約期間及び協議期間に関する報告
 - 6月定例会開催に関する報告

- 6月会員定例会 (6月8日開催) WEB 会議
 - 理事・監事選任の報告
 - 副会長(業務執行理事)選定の報告
 - 第59回優秀外国映画輸入配給賞に関する報告
 - 4月・5月活動報告
 - 休業要請における協力金に関する報告
 - JASRAC 協議における進捗報告
 - 映画製作の環境改善の取り組みに関する報告

- 7月会員定例会 (7月20日開催) WEB 会議
 - ◆「カンヌ国際映画祭レポート」 映画ジャーナリスト 佐藤 久理子 氏
 - 第59回優秀外国映画輸入配給賞に関する報告
 - トーキョーシネマショー2021に関する報告

関西シネマショーケース2021に関する報告
年間スケジュールの報告
6月活動報告
「映画の日」永年勤続功労章に関する報告
休業要請における協力金に関する報告
JASRAC 協議における進捗報告
2021年上半期映画概況報告

○9月会員定例会（9月21日開催）WEB会議

- ◆「TIFFCOM2021について」
公益財団法人ユニジャパン TIFFCOM ディレクターCOO 松本 浩 氏
- ◆「第34回東京国際映画祭について」
公益財団法人ユニジャパン 東京国際映画祭 事務局長 都島 信成 氏

トーキョーシネマショー2021実施報告
2022年（令和4年）年頭名刺交換会の報告
第66回「映画の日」特別功労章推薦の報告
7月・8月活動報告
文化庁DX時代に対応した著作権制度・政策の在り方に関する報告
MPTE AWARDS 2021に関する報告
SARTRAS 補償金分配に関する報告
永年勤続功労章受章者決定の報告
第66回「映画の日」中央式典に関するお知らせ
JASRACに関する情報の報告
時短要請における協力金に関する報告

○10月会員定例会（10月19日開催）

理事逝去の報告
トーキョーシネマショー2021終了報告
関西シネマショーケース2021終了報告
第59回優秀外国映画輸入配給賞の報告
9月活動報告
SARTRASに関する報告
障害を理由とする差別解消の推進に関する法律の一部改正の報告

○11月会員定例会（11月16日開催）WEB会議

- ◆「TIFFCOM2021 実施報告」
公益財団法人ユニジャパン TIFFCOM ディレクターCOO 松本 浩 氏
- ◆「COME BACK映画祭 実施概要説明」
株式会社ムービーウォーカー プラットフォーム事業局 小菅 量平 氏

2022年 定例会等、開催日程の報告
10月活動報告
トーキョーシネマショー、関西シネマショーケース仮決算報告
Go To 新制度ヒアリングに関する報告
時短要請に伴う配給会社協力金に関する進捗報告

○2月会員定例会 (2月15日開催) WEB 会議

2022年度事業スケジュールの報告
11月・12月・1月活動報告
時短協力金に関する進捗報告
映連全国映画概況の報告
映倫年間審査本数比較の報告
映画翻訳家協会2022年版会員名簿の報告

○3月会員定例会 (3月15日開催) WEB 会議

2021年度仮決算の報告
2022年度事業計画(案)の報告
賛助会員会費変更の報告
外国映画通関連絡協議会・外画宣伝部長会の報告
時短協力金に関する進捗報告
JASRAC 交渉進捗の報告
盗撮防止キャンペーン映像期間限定バージョン送付について
2月活動報告

3) 宣伝部会、営業部会、製作＝渉外部会、総務・経理合同部会の開催

○宣伝部会

- ・3月23日開催 WEB 会議
 - 2022年度事業計画の報告
 - 第60回優秀外国映画輸入配給賞の報告
 - 盗撮防止キャンペーンの報告
 - 文化庁DX時代に対応した著作権制度・政策の報告
 - 障害者差別解消法の報告
 - 授業目的公衆送信補償金制度(SARTRAS)の報告
 - 映倫年間審査本数の報告
- ・外画宣伝部長会における情報の共有
- ・「映画館に行こう!実行委員会」における情報の共有

○営業部会

- ・ 7月5日開催 WEB会議
東京都による大規模施設協力金申請オンライン説明会
- ・ 3月23日開催 WEB会議
2022年度事業計画の報告
都道府県別興収・動員実績比率の報告
JASRAC交渉の報告
時短協力金に関する報告
第60回優秀外国映画輸入配給賞の報告
盗撮防止キャンペーンの報告
文化庁DX時代に対応した著作権制度・政策の報告
障害者差別解消法の報告
授業目的公衆送信補償金制度(SARTRAS)の報告
映倫年間審査本数の報告
- ・ 大規模施設協力金における情報の共有
- ・ 経済産業省からの通達、情報の共有

○製作＝渉外部会

- ・ 外国映画通関連絡協議会における情報の共有
- ・ 経済産業省からの通達、情報の共有
- ・ 映画業界関連における情報の共有

○総務・経理合同部会

- ・ 映団連「映画の日」永年勤続表彰に関する連絡
- ・ 経済産業省からの通達、情報の共有
- ・ 映画業界関連における情報の共有

4) 外国映画通関連絡協議会の開催

- 常任理事会 ・ 7月29日開催 WEB会議
- ・ 11月10日開催 WEB会議
- ・ 3月25日開催 WEB会議
- 会員定例会 ・ 12月3日開催

5) 外画宣伝部長会の開催

- ・ 3月23日開催 WEB会議
2022年度事業計画の報告
第60回優秀外国映画輸入配給賞の報告
盗撮防止キャンペーンの報告 等

Ⅲ. 主な事業活動の報告

1) 外国映画に関する調査、研究、統計資料の作成、収集並びにその公表等の広報活動に関する事業

2021年外国映画作品目録を2022年1月に発表。2021年外画概況（国別・会社別）一覧を7月（上半期）と1月に発表した。各種資料は完成後当協会ホームページに掲載し、関連団体、官公庁、関係会社、マスコミとの連絡業務に使用されている。

2) 外国映画文化、芸術の振興及び外国映画輸入配給産業の発展に寄与した団体、法人、人物の表彰、顕彰に関する事業

1. 第59回優秀外国映画輸入配給賞の実施

社団法人外国映画輸入配給協会が昭和37年度（1962年）から通商産業省（現経済産業省）の後援を得て制定した「優秀外国映画輸入配給賞」は59回を迎える。第59回同賞は2020年4月1日から2021年3月31日迄の1年間に作品の質が高く、なおかつ新分野を開拓し、日本の映画界の発展に大きく寄与すると認められた外国映画を輸入公開した配給会社を表彰するため、8名の審査員により審査が行われ、各賞が決定された。

<審査内容>

第59回は従来通り「最優秀賞」を正賞とし、次点として「優秀賞」が贈られる。また、意欲的且つ冒険的に各国優秀作品の買付・輸入・配給に努めた会社に対し審査員の合議に基づいて「奨励賞」を設けることができる。受賞会社は、公開した作品の内容とともに興行成績も重視して授与されることとなる。なお、映倫未審査の作品は本賞の審査対象とはならない。

<審査員・運営委員合同会議> 2020年10月4日（水） 如水会館にて開催

・実施要項承認 ・運営委員選定 ・審査委員長就任

運営委員：井上伸一郎、大角正、山崎敏、栗原弘行、諸富謙治、釣巻美智子

審査員：秋山登、大高宏雄、小菅昭彦、小林千穂、佐伯知紀、三浦理高、村上光一、渡辺祥子

<審査会>

- ・第1回審査 2021年2月19日 書類審査
- ・最終審査 2021年10月5日（水） 如水会館にて開催
- ・【最優秀賞】 ギャガ株式会社

「ランボー ラスト・ブラッド」「燃ゆる女の肖像」「ミナリ」

コロナ禍により、異例づくめの事態が発生。劇場公開の予定が二転三転する中、6月公開に踏み切って「ランボー ラスト・ブラッド」をヒットさせた企業努力が高く評価された。また、女性の心の通い合いを知的な心配りで映像化させたフランス映画「燃

ゆる女の肖像」、アメリカへ移住して根を下ろしていく韓国家族の姿を丁寧に描く「ミナリ」など、変化に富んだ映画を買い付け公開する積極的な姿勢が称賛に値した。

・【優秀賞】 株式会社クロックワークス

「コリーニ事件」「82年生まれ、キム・ジョン」

イタリア人労働者コリーニによるドイツ経済界の大立者殺害事件を担当する国選弁護人の苦悩と努力。そこから暴き出された戦後ドイツ史上最大の司法スキャンダルとドイツ刑法の闇を描く「コリーニ事件」。女性監督キム・ドヨンの長編映画デビュー作「82年生まれ、キム・ジョン」は、韓国のみならず、世の女性たちが感じる生きることの難しさを自身が2児の母である経験を踏まえて語り共感を呼んだ。それぞれに見る者を刺戟し、考えさせる世界各国の映画を公開、話題を作り丁寧に宣伝した姿勢が評価された。

・【奨励賞】 株式会社アニモプロデュース

「はちどり」

多感な年ごろの少女の日々を韓国特有の女性観や同性監督でなければ気づかない細やかな視点の中に描いた「はちどり」を見出し、配給・公開した着眼点の良さが評価された。この女性監督キム・ボラの長編デビュー作は、日本の女性からも多くの共感を得て話題を呼んだ。

<授賞式> 2021年11月16日(火) 東京會館にて開催

授賞式には受賞会社、外配協会員各社をはじめとして、業界通信各社が参加した。当日会場では、全員着席にて黙食を推奨する等、新型コロナウイルス感染予防のための対策を講じた。なお、例年行っている最優秀賞受賞会社提供による記念上映会は、昨年に引き続き中止とした。

2. 一般社団法人映画産業団体連合会会員としての活動

一般社団法人映画産業団体連合会(映団連)の正会員として、当協会会長は理事として定時総会、定例理事会に出席し、事務局長はオブザーバーとして同席。映団連会員団体の事務局長連絡会議に出席、各団体からの最新情報を速やかに当協会会員に共有するとともに、映団連の会員として当協会の基盤の安定に努力した。映団連主催の第66回「映画の日」運営に協力した。さらに特別功労章に原正人氏、依田巽氏を当協会より推薦し、2021年12月1日の第66回「映画の日」中央大会において表彰された。

第66回「映画の日」<特別功労章>受賞者(当協会推薦者)

原 正人 氏

(プロデューサー/Hara Office 代表/元 アスミック・エース特別顧問)

依田 巽 氏

(ギャガ株式会社 代表取締役社長 CEO/株式会社ティー ワイ リミテッド

代表取締役会長)

3) 国民に対する輸入外国映画の社会的有用性の啓発のための宣伝、普及促進、保存及び特殊上映に関する事業

1. 「トーキョーシネマショー2021」の開催

今年で26回目を迎えた「トーキョーシネマショー」は、日本における外国映画の普及と発展に寄与するため関係各社の協力を得て実施している。

全国の興行関係者や配給会社を中心に237名の参加を得て、9月15日に新宿ピカデリーにて開催され、配給各社の最新予告編・特典映像の上映および米国在住の映画評論家、町山智浩氏のトークライブの2つのイベントが行われた。

参加者全員には、34社の加盟配給会社より280作品が掲載されたラインナップパンフレットが配布された。

開催日時： 2021年9月15日（水）16：00～18：00

会場： 新宿ピカデリー

内容： 第1部「配給各社イチオシの1本!」最新予告編・特典映像連続上映
（30作品、内4作品が初出し映像）
第2部「町山智浩のトークライブ2021」（リモート編）
最新アメリカ映画情報レポート

2. 「関西シネマショーケース2021」の開催

関西の映画業界人が集まる催しが減少した事態を受けトリアル開催を実施。配給各社の最新予告編・特典映像の上映および米国在住の映画評論家、町山智浩氏のトークライブの2つのイベントが行われた。参加者全員には34社の盟配給会社より280作品が掲載されたラインナップパンフレットが配布された。

緊急事態宣言中につき他府県を越える移動が制限されたため、大阪府内の関係者に限定して来場いただいた。

開催日時： 2021年9月29日（水）14：00～16：00

会場： 大阪商工会議所 国際会議ホール

内容： 第1部「配給各社イチオシの1本!」最新予告編・特典映像連続上映
（30作品、内4作品がトーキョーシネマショー初出し）
第2部「町山智浩のトークライブ2021」（リモート編）
最新アメリカ映画情報レポート

3. 「映画館に行こう!」実行委員会活動

年間映画人口を2億人に拡大し、映画産業と日本経済の発展に資することを目的に、一般社団法人日本映画製作者連盟、全国興行生活衛生同業組合連合会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の映画業界4団体が平成16年に発足させた「映画館に行こう!」実行委員会の2021年度事業に積極的に参加した。

<主な活動内容>

- ① 映画館での盗撮防止への継続的活動。
- ② 上映時間データベースおよび YAHOO! 予告編サイトの継続により観客の利便性の拡充を図った。
- ③ 全興連と連携による映画館の「安全」「安心」をアピール。
- ④ 休業および時短要請における協力金に関する対応全般。

4. 国立映画アーカイブへのフィルム寄贈

会員各社の作品契約の諸条件の中で、契約相手の賛同を得て日本（国立映画アーカイブ）にプリントを残すための活動について、理解を深め賛同を得るための努力を継続。

4) 外国映画文化の振興並びに外国映画輸入配給産業の発展及び最新映画技術研究に寄与するセミナー・シンポジウム・交流会の開催に関する事業

1. 年頭名刺交換会の開催

モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）の協力を得て日本の映画産業を支える配給、興行、宣伝、製作、メディア関係者が一堂に参加。年頭にあたり外国映画輸入配給事業の健全な発展を図り、我が国経済の発展と文化の向上に寄与することを目的として開催してきたが、今年度は参加者の健康を留意して中止となった。

2. 外国映画通関連絡協議会研修会

映画・映像関連事業に携わる企業32社が参加する外国映画通関連絡協議会では、東京税関を初めとする諸機関との折衝を通じて輸入通関業務の簡素化を図るため情報を共有した他、年間を通じて主に以下のような活動を行った。

- ① 定例会合の開催
- ② 常任理事会の開催
- ③ 創立60周年記念事業（記念品作成）

3. 外画宣伝部長会

当協会会員会社とモーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）加盟会社、映連加盟会社他、合計36社の宣伝部長で構成される宣伝部長会を開き、直面する諸問題の検討、情報の交換等を行い、各社の宣伝業務が円滑、健全に遂行されるとともに、映画観客数の増加に繋がる宣伝を各社が行える環境整備に努力をした。また、「映画館に行こう！」上映時間データベースや YAHOO! 予告編サイトについて改良、改善に努め今後のキャンペーンに向けた情報収集等に協力。「#NO MORE 映画館休業」へのリツイート拡散や「映画館に行こう!実行委員会」への協力等、映画観客数の増加に寄与するため邦画・洋画の枠を超えた情報交換の場の提供や人的交流の促進を図るべく活動した。

4. 外配協セミナーを開催

・「カンヌ国際映画祭レポート」 映画ジャーナリスト 佐藤 久理子 氏

5) 映画事業の振興推進を目的とした各種映画祭への協力、後援及び開催に関する事業

1. 映画祭の後援・協力を行い、各映画祭が成功裡に開催されるよう協力した。

2021年度 外配協後援各種映画祭・イベント

映 画 祭	会 期	会 場
午前十時の映画祭11	2021年4月2日 ～2022年3月31日	全国63映画劇場
島ぜんぶでおーきな祭～ 第13回沖縄国際映画祭～	2021年4月17日 ～4月18日	桜坂劇場、ホテルアンテル ーム那覇ほか
あいち国際女性映画祭 2021	2021年9月2日 ～9月5日	ウィルあいち、ミッドラン ドスクエアシネマ
SKIPシティ国際Dシネマ 映画祭2021	2021年9月25日 ～10月3日	オンライン開催
映画感想文コンクール 2021	2021年7月初旬 ～9月15日(募集)	2022年2月2日 キネマ旬報ベスト・テン 表彰式内で発表
山形国際ドキュメンタリー 映画祭2021	2021年10月7日 ～10月14日	オンライン開催
第34回東京国際映画祭	2021年10月30日 ～11月8日	日比谷・銀座地区
MPTE AWARDS 2021	2021年11月10日	東京国際フォーラム
TIFFCOM 2021	2021年11月1日 ～11月3日	オンライン開催

第17回山形国際ムービー フェスティバル2021	2021年11月12日 ～11月14日	MOVIE ONやまがた
COME BACK 映画祭～コロナ禍 で影響を受けた映画たち～	2021年12月4日 ～12月19日	ミクサライブ東京
第13回 京都ヒストリカ国際映画祭	2022年1月22日 ～1月30日	京都文化博物館ほか
第17回 大阪アジア映画祭	2022年3月10日 ～3月20日	ABCホール、シネ・リー ブル梅田、梅田ブルク7

3. 各種映画賞運営に協力

第45回「日本アカデミー賞」（運営委員として）、第76回「毎日映画コンクール」の運営（諮問委員として）に協力した。

6) 輸入外国映画の国際取引に係る紛争解決の斡旋及び知的財産保護に関する事業

1. 映画館内における映画盗撮により、複製海賊版DVDやインターネット上へのダウンロード等により著作権侵害が多発していることから、映画各団体は協力して活発な活動を展開した結果、平成19年「映画館の盗撮の防止に関する法律」が公布、施行された。この後当協会、一般社団法人日本映画産業団体連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、モーションピクチャー・アソシエーション(MPA)、全国興行生活衛生同業組合連合会は、一般社団法人映像ソフト協会、日本国際映画著作権協会とも緊密な連絡をとり、同法律の周知徹底に資するため、「映画館に行こう！」実行委員会を中心に全国劇場における盗撮防止キャンペーンCM(カメラ男)を継続している。このほか、違法対策室を設け劇場からの盗撮情報を集約、連絡を徹底している。

2. 著作権問題

会員各社における著作権問題に関する諸問題を顧問弁護士との相談を通じ検討・連絡・対応にあたった。一般社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)と全国興行生活衛生同業組合連合会の間で協議を重ねている「JASRAC協議」では、JASRACの管理楽曲の映画における上映使用料規程改定交渉が行われており、オブザーバーとして参加した。新型コロナウイルスの感染が世界的に広がるなか協議は一時中断しているが、今後とも公平な負担と現状の使用料維持を求めると共に、映画業界全体としてこの問題の解決に向かって各関連団体との協議を重ねていく。

7) 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

IV. 新型コロナウイルス感染症対策による業界全体の行動

新型コロナウイルス感染症は、2020年から継続して公開延期や映画館の営業自粛が相次ぎ、映画業界へのダメージが増した年となった。当協会では、会議をWEBシステムにて開催。イベント事業は感染対策を講じて内容を変更して実施した。

2021年4月25日3度目の緊急事態宣言が発出されてから、映画館は感染対策を十分に講じているにもかかわらず、営業自粛を強く要請された。映画館の休業・自粛は興行だけの問題でなく、製作・配給すべてに携わる者が大きな経済的損害を被る事態と憂慮。「映画館に行こう!」実行委員会が中心となり「興行=全国興行生活衛生同業組合連合会(全興連)」「製作=日本映画製作者連盟(映連)」「配給=日本映画製作者連盟(映連)・外国映画輸入配給協会(外配協)・モーショントピクチャーズ・アソシエーション(MPA)」が共同で業界全体の課題に取り組んだ。当協会では「厳しい状況は配給会社も同じである」として、主に配給会社への協力金支給を実現し、映画流通の仕組みに合わせた支給システムを構築した。

・4月23日: 内閣官房より各都道府県へ事務連絡

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「協力要請推進枠」の取り扱いの変更等について

→スクリーンを用いて映画を上映するテナント事業者とする。

・5月11日: 東京都における緊急事態措置に対する声明文(全興連)

・5月24日: 「映画館」再開の要望について声明文(映連)

・5月28日: 「#MO MORE 映画館休業」拡散協力要請(外画宣伝部長会)

・6月14日: 配給会社協力金分科会会議

・6月17日: 第1回配給会社協力金連絡会議

・7月5日: 「東京都による大規模協力金申請」オンライン説明会(東京都)

・7月26日: 「委任状」依頼開始(地方自治体・時短要請分) 29自治体

・8月19日: 第2回配給会社協力金連絡会議

・9月14日: 第3回配給会社協力金連絡会議

・9月29日: 第4回配給会社協力金連絡会議

・11月25日: 第5回配給会社協力金連絡会議

・11月末: 「委任状」集約完了(2800件、29自治体、130配給会社)

・3月: 「分配証明書」発行・承認

・3月末: 第1回分配支払い完了

以上